

昭和56年度派遣前専門家等中期研修  
農林水産プロジェクトリーダーコース実施要領

JICA  
000  
80.7  
PLM  
BRARY

国際協力事業団

受入 月日	'87.5.18	000
登録 No.	08528	80.7 PLM

PLM

昭和56年度派遣前専門家等中期研修農林水産  
プロジェクトリーダーコース実施要領

国際協力事業団

1. 研修の目的

我が国の開発途上地域等に対する農林水産業協力の円滑な実施に資するため、我が国の農林水産業専門家等に対し海外における農林水産業協力に必要な専門的技術、知識、語学等について研修を行うものとする。

2. 研修場所 国際協力事業団 研修室

( 東京都新宿区市ケ谷本村町4-2 )  
( 経済協力センタービル内 )

及びその他の施設

3. 研修期間 昭和56年5月14日から昭和56年7月27日まで  
( 75日間 )

4. 研修コース及び定員

プロジェクトリーダーコース 10名

5. 研修課程及び日程

別紙のとおり一般研修、語学研修及び専門研修の区分により実施する。

6. 受講の資格

将来開発途上地域等における農林水産業協力事業に専門家等として派遣が予定される者で、農林水産業技術者としての能力を有すると認められる者であって次の各号に該当するもの。



- (1) 年 令 おおむね40～50才
- (2) 学 歴 大学において農林水産業に関する課程を修めた者、又はこれと同等の専門的知識を有すると認められる者
- (3) 経 験 原則として10年以上の農林水産業に関する実務経験を有する者

7. 受講申込み

- (1) 研修を受けようとする者（国家公務員は除く）は次により必要書類を添えて昭和56年4月30日までに事業団あて申し込むこと。

ア 申込み先 国際協力事業団農林水産計画調査部「中期研修係」宛  
 〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番地 新宿三井ビル 私書箱216号  
 電話 東京03-346-5248

イ 必要書類

- (ア) 研修申込書 別紙様式1によるもの 1通
- (イ) 履 歴 書 市販の用紙B5判によるもの 1通
- (ウ) 写 真 3カ月以内に撮影の上半身無帽のもの 2枚  
 寸法：5×5cm（裏面に氏名記入のこと  
 うち1枚は履歴書に貼付）

- (2) 国家公務員の受講申込みについては

農林水産省経済局長（農林水産省のみ）および所属機関の長（農林水産省以外）の推せん（別紙様式2）による。

8. 必要経費の負担

受講に必要な経費の負担区分は次のとおりとする。

受講に必要な経費区分	民間企業・ 地方公務員等	国家公務員 (農林水産省職員のみ)
(1) 勤務地または居住地から 研修場所までの往復旅費	事業団負担	国 負 担
(2) 現地研修旅費	〃	〃
(3) 日当・宿泊費	〃	〃
(4) 教 材 費 等	〃	事 業 団 負 担

9. 修了証書の交付

事業団は所定の研修課程を修了した者に対して修了証書を交付する。

10. 海外研修の実施

国内研修修了者の一部について、別に定める実施要綱に基づき海外研修（約3週間）を実施する。

11. 専門家登録

研修修了者は、全員事業団の派遣専門家登録を行う。

様式 1.

昭和 年 月 日

国際協力事業団

理事 橋 敬 一 殿

所 属 先

所属長氏名

下記のとおり必要書類を添えて申し込みいたします。

記

1. 研修コース名

2. 氏 名 (昭和 年 月 日生)

3. 現 住 所〒 電話番号

4. 勤 務 先 電話番号

5. 同上所在地〒

6. 専 門 技 術

様式 2.

文書番号

年月日

国際協力事業団

理事 樋 敬 一 殿

農林水産省経済局長

または所属機関の長

回

このことについて下記の者を適当と認め推せんする。

記

受講研修コース名

ふりがな 氏名	年齢 (生年 月日)	所 属	所属部課 係 名	最終卒業 学校名及び 卒業年次	採用 年次	専門分野	希望外国語 (英語又は 西語)	備 考 (等 級) (号俸等)

別 紙

項目 区分	科 目	時 間 数	割 合
一 般 研 修	経済協力の概要	1 1.0	%  1 1.5
	発展途上地域の一般概論	2 7.0	
	小 計	3 8.0	
語 学 研 修	英(西)語基礎会話	1 5 4.0	5 4
	英作文(西語研修)	2 5.0	
	小 計	1 7 9.0	
専 門 研 修	農林業開発協力事業の概要	7.5	3 2
	農林業開発調査及び評価	5.0	
	熱帯農林業概論	5.0	
	熱帯農林業各論	3 2.5	
	プロジェクトの事例報告	1 0.0	
	現 地 研 修	4 6	
小 計	1 0 6.0		
そ の 他	開・閉講式等	8.5	2.5
	小 計	8.5	
合 計		3 3 1.5	1 0 0.0



( 参 考 )

研修場所略図

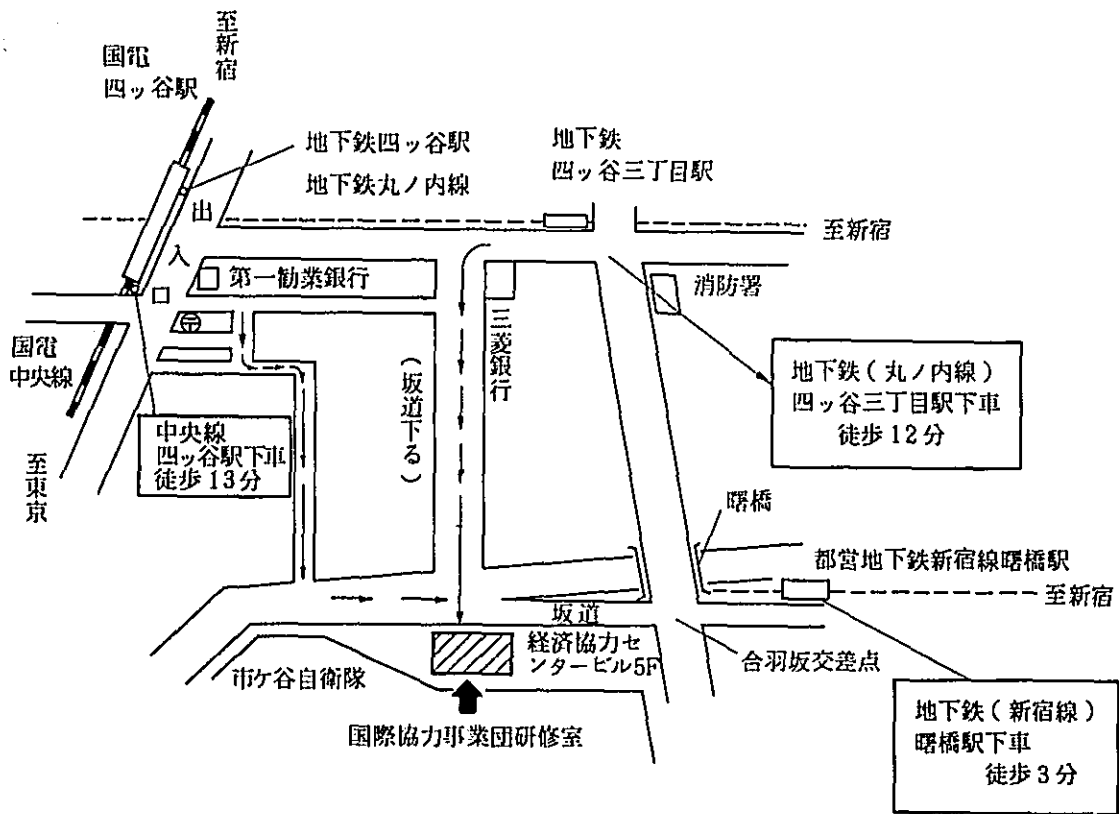
東京都新宿区市ヶ谷本村町4番地

経済協力センタービル別館5階

国際協力事業団研修室

TEL 東京 03-355-6432・6434

( 研修期間中の電話 )



研修に関する連絡先

国際協力事業団 農林水産計画調査部

電話 東京 03-346-5248

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番地

新宿三井ビル内私書箱216号

研修日程概要

時期	月	5 月					6 月					7 月					備 考
	第 週	第 1 週	第 2 週	第 3 週	第 4 週	第 5 週	第 6 週	第 7 週	第 8 週	第 9 週	第 10 週	第 11 週					
農林水産 プロジェクト リーダー コース	開講式 5月14(木)						6/19	6/20				7/20 ~ 7/25	7/27(月)	閉講式	専門講義の時間配分 講義 13.30 ~ 15.00 講師との意見交換 15.10 ~ 16.00		
	9.15	英 会 話					現 地 研 修	英 会 話					現 地 研 修				
	12.15																
	13.30~ 16.00	一 般 講 義		専 門 講 義				専 門 講 義		英文レポート 作成等							
	16.00~ 17.00	諸 打 合 せ ・ 討 論 等						諸 打 合 せ ・ 討 論 等									

< 研修日程 >

項目 日数	年月日	曜 日	午前		午後		
			9:15 ~ 12:15		13:30 ~ 16:00		
			科目	講師名	科目	講師名	科目
1	56. 5.14	木	開講式諸連絡		コース別ガイダンス・英語クラス分けテスト		
2	15	金	国際協力の 現状と問題点		国際協力事業の組織と機能・専門家派遣制度等		諸打合せ・討論等
3	16	土	先進国の技術協力の 現状				
4	17	日					
5	18	月	地域概論(1) 東南アジア地域	堀村 敏二 アジア経済 研究所 動向分析部	地域概論(1)東南アジア地域 各コース別討論分科会		
6	19	火	地域概論(2) 中東地域	林 武 アジア経済 研究所調査役	" (2)中東地域 "		
7	20	水	地域概論(3) 中南米地域	G.アントラーデー 上智大学教授	" (3)中南米地域 "		
8	21	木	地域概論(4) アフリカ地域	青木一能 日本大学国 際関係学部 講師	" (4)アフリカ地域 "		
9	22	金	語学研修 (共通)		政治経済を中心とした南北問題	川田 侃	上智大学教授
10	23	土	"				
11	24	日					
12	25	月	"		発展途上国における宗教と社会	堀村 昇	亜細亜大学教授
13	26	火	"		専門家と異文化接触	室 靖	東和大学教授
14	27	水	"		農林水産国際協力事業の意義	浜田 幸一郎	農林水産省国際協力課長
15	28	木	"		農林水産国際協力事業の現状(民間)	石黒 光三	海外農業開発協会参与
16	29	金	"		熱帯農業概論	西川 五郎	熱帯農学会会長
17	30	土	"				
18	31	日					
19	6. 1	月	"		熱帯農業概論	西川 五郎	熱帯農学会会長
20	2	火	"		開発途上地域の農村社会	高橋 彰	東京大学教授
21	3	水	"		熱帯の有用作物(草本科)	佐藤 孝	神戸大学名誉教授
22	4	木	"		熱帯の有用作物(木本科)	"	"
23	5	金	"		事例研究	未定	未定
24	6	土	"				

(注) 講師の都合により日程等を変更することがあります。

項目 日数	年月日	曜 日	午 前		午 後			
			9:15 ~ 12:15		13:30 ~ 16:00		16:05 ~ 17:00	
			科 目	講 師 名	科 目	講 師 名	科 目	
25	56. 6. 7	㊤	語学研修	語学研修				
26	8	月	"	"	熱帯の土壤	三宅正紀	農水省熱帯農業研究センター 主任研究官	"
27	9	火	"	"	熱帯農業と水利用	未定		"
28	10	水	"	"	熱帯の稲作	山田 登	農水省熱帯農業研究センター 顧問	"
29	11	木	"	"	熱帯の複作	石塚喜明	北海道大学名誉教授	"
30	12	金	"	"	事例研究	未定		"
31	13	土	語	"				
32	14	㊤						
33	15	月	"	"	開発途上地域の農村開発	山田 三郎	東京大学教授	"
34	16	火	"	"	開発途上地域の林業開発	神足勝治	JICA 技術参与	"
35	17	水	学	"	開発途上地域の畜産開発	渡辺昭三	農水省畜産試験場育種第二研究室長	"
36	18	木	"	"	開発途上地域の水産開発	加福竹一郎	海外漁業協力財団特別嘱託	"
37	19	金		現地研修	現地研修 (筑波)			
38	20	土		"	"			
39	21	㊤	研					
40	22	月	語学研修	語学研修	農業開発調査の手法	未定		"
41	23	火	"	"	プロジェクト評価と方法	紙谷 貢	農水省農業総合研究所 海外部長	"
42	24	水			プロジェクト評価と方法	"	"	"
43	25	木	修	"	事例研究	未定		"
44	26	金	"	"	事例研究	未定		"
45	27	土	"	"				
46	28	㊤						
47	29	月	"	"	国際人としての心構え	山田 登	農水省熱帯農業研究センター 顧問	
48	30	火	"	"	国際協力事業と専門家の役割	本橋 馨	JICA 農林水産計画調査部長	
49	7. 1	水	"	"				

項目 日数	年月日	曜 日	午 前		午 後		
			9:15 ~ 12:15		13:30 ~ 16:00		16:05 ~ 17:00
			科 目	講 師 名	科 目	講 師 名	科 目
50	56. 7. 2	木	語 学 研 修	語学研修 (共通)	語 学 研 修	コース別英作文・西語	諸打合せ・討論等
51	3	金		"		"	
52	4	土		"		"	
53	5	⊕					
54	6	月		"		"	
55	7	火		"		"	
56	8	水		"		"	
57	9	木		"		"	
58	10	金		"		"	
59	11	土		"		"	
60	12	⊕					
61	13	月		"		"	
62	14	火		"		"	
63	15	水		"		語学研修(共通)	
64	16	木		"		"	
65	17	金		"		"	
66	18	土		"		"	
67	19	⊕					
68	20	月		現 地 研 修		現地研修 (沖縄)	
69	21	火	"		"		
70	22	水	"		"		
71	23	木	"		"		
72	24	金	"		"		
73	25	土	"		"		
74	26	⊕					
75	27	月		最終エバリュエーション		閉講式	